

多文化共生時代の福祉を考える

こころの家族



あこがれ

東シナ海に沈む夕日を見ながらみんなで一緒に歌うとき、そこには平和がありました。友情、善意、温かい美しさがありました。子どもたちは歌を歌うのが好きです。

コロナ禍で人に会うのが制限されるようになって、散歩しながらスマホで音楽を楽しむことが多くなった。少年時代に、なぜイギリスや北米の歌を歌ったのだろうか。

そのひとつ、「殖生の宿」(Home Sweet Home)の一節一節は私のあこがれだった。

- 1 殖生の宿も 我が宿 玉の装い 羨まじ
のどかなりや 春の空 花はあるじ 鳥は友
おゝ 我が宿よ 楽し友 頼もしや
- 2 書読む窓も 我が窓 瑠璃の床の羨まじ
清らなり秋の夜半 月はあるじ 虫は友
おゝ 我が宿よ 楽し友 頼もしや

この歌について金鉉沃(キム・ヒョノク)教授に由来を聞いた。英国人ヘンリー・ビショップ(1786~1855)が作曲し、



故郷の家の玄関にて

米国人ジョン・ハワード・ペイン(1791~1852)が作詞した。「Home Sweet Home」はオペラ『ミラノの乙女』の主題歌で、イギリス民謡だ。日本では「殖生の宿」として知られている。ペインは人生の根本である家庭の大切さを歌に盛り込み、多くの米国人から尊敬された。俳優兼劇作家で、アルジェリア駐在米領事を務め生涯を終えたが、彼の遺体が31年ぶりに帰国すると、米大統領、閣僚、そして多くの国民が出迎え弔意を表したという。

しかし、皮肉にも彼は一度も家庭を持つことができなかった。しかも、この歌詞は家もなく悲惨な放浪者の生活を送るときに書いたものだ。さみしい放浪生活から家庭の大切さを思い知ったペイン。家庭は彼が望むただ一つの夢だったかもしれない。

伝説のような有名な逸話がある。1862年、米国の南北戦争当時、バージニア州のレパノック・リバー戦闘の時のことだ。

軍人たちは、川一つを挟み血戦の激闘を繰り広げ、夜には激励と慰労のための音楽会が開かれた。北部軍で演奏する音楽は、川の向こうの南部陣営にまで聞こえた。故郷を懐かしむ単純な旋律。静かに流れる歌に軍人たちは引かれるように外に出て、だれもが川に飛び込んだ。両陣営の軍人は、互いが敵であることを忘れて抱き合い、涙の同胞愛を感じた。この映画のような場面を演出した曲が「殖生の宿」だ。戦争はこの一曲の歌で終わりを、敵対感はその愛と平和に変わった。

小さな我が家が誰かにとっては切実な一生の夢であり、退屈な今日一日がその日暮らしには人生の全てだ。ペインはこのたった一曲の作詞で故郷を懐かしむ人々の胸に永遠に生きている。

かつて哲学者のアリストテレスは「幸せは人間の究極的な目標」と言った。ドイツの哲学者カントは、「すべきことがあり、愛する人と希望があるなら、その人は今幸せな人だ」と言った。

音楽は心を豊かにしてくれる。

社会福祉法人こころの家族
尹基 (Tauchi Motoji)

もくじ

再び種をまくつもりで2p
 コンベンション・木浦ツアー報告3~4p
 白建宇さんの歓迎会を開催4p

日韓次世代交流事業を実施 5p
 座談会/施設長が語る 2023年 6~7p
 おんどう 8~9p

ちいさな芽 10p

再び種をまくつのもりぞ

「地球村」という言葉がいつの間にか消えてしまいました。「地球村」という言葉は、世界が「一つの巨大なコミュニケーション」であり、「一つ」であることを象徴する温かい言葉です。しかし今、平和と連帯、分かち合いと協力、愛と共同体という言葉の代わりに、葛藤と反目、紛争と制裁、禁止と抑圧という言葉が私たちの周りに氾濫のように横行します。

過去の遺物であると考えていた冷戦体制が再び復活することを私たちは見せられています。私たちは、これはいわゆる「新冷戦体制」と呼んでいます。今の冷戦は民族主義と、経済・貿易の葛藤、理念と宗教の対立、領土紛争と帝国主義の復活が絡み合い、その解法の糸口が見えません。

こういう時だからこそ、私たちは基本に立ち戻る必要があります。私たちが守ろうとしている貴重な価値を取り

戻すこと。今私たちは直ちにやらねばなりません。人間の尊厳と人間への愛は、その価値の中でのみ確立され、存在するからです。

ここに愛の物語があります。あの厳しくて邪悪な時期に、愛でそのすべてを克服した物語です。奇跡だとか言えない話です。

日本が韓国から撤退した後、両国は長い間断交の時代を続けてきました。その間に残ってしまったわだかまりとして、両国は敵対的な関係とならざるを得なかったのです。しかし、その憎しみと葛藤の中でも黙々と愛を実践した女性がいきました。

韓国人の男性と結婚した日本の女性、田内千鶴子がまさにその主人公です。田内千鶴子は、木浦で夫と共に共生園という孤児院を運営して韓国の孤児を育てました。彼女の愛の偉大さは、朝鮮戦争以降に、夫が行方不明になると

共生園に残り、夫の代わりに一生を韓国の孤児のために献身したことに表れます。

真の愛と犠牲は、違う形で愛と奇跡を生み出しました。

まだ日本に対する敵対感が膨脹していた時期だったにもかかわらず、彼女が他界したとき、木浦市は初めて市民葬で彼女の死を哀悼し、彼女の犠牲を称えました。自分の病院代を惜しんで子どもたちの食べ物と学用品を準備していた千鶴子の愛が人々の心を動かしたのです。愛はすべての憎しみと悪意と敵意を倒し、再び新しい愛を育みます。

その奇跡のような出来事は、千鶴子の死で終わりませんでした。彼女の息子である私はお年寄りになるまで、故国に帰ることができず、日本で寂しく死を待っている韓国老人のための最後の避難所、憩いの場、「故郷の家」を運営しながら、彼らの人生の最後の時間を大事にしています。

千鶴子の死で終わらせたい。命の脅威にさらされています。子どもたちは人類の未来であり、希望です。再び地球村、その価値を取り戻し、その子どもを覚え、愛と協力、分かち合いと連帯を通じてその子どもを守

す。「故郷の家」には、亡くなった韓国老人たちの遺骨が祀られ、裏庭に造成された平和と祈りの庭園にその方々がいらつしやいます。その空間は、新しい平和の空間であり、共存の空間であり、愛と慰めの空間です。

千鶴子が残した崇高な犠牲は、これがすべてではありません。その犠牲と愛の精神は、国連「世界孤児の日」制定というより大きな目標に向かっていきます。

千鶴子の一生の願いは孤児のない世界でした。今この瞬間にも地球上には数多くの孤児が生まれています。

内戦と国家間の紛争、麻薬と暴力、事故や病気など、様々な理由で多くの子どもたちが両親を失い、命の脅威にさらされています。子どもたちは人類の未来であり、希望です。再び地球村、その価値を取り戻し、その子どもを覚え、愛と協力、分かち合いと連帯を通じてその子どもを守

らなければ、人類の未来は決して明るいものとはならないのです。

コロナでしばらく中断された国連「世界孤児の日」制定を再び展開したく存じます。そして、故郷の家の裏庭にある平和と祈りの庭園に込められた愛と人間尊重の価値を再確認し、これを通じて日韓・韓日が新しい協力関係を築く糧になればと思います。

社会福祉法人こころの家族

尹基 (Tauchi Motoki)



日韓の未来に向けた交流を深めよう

コンベンションを開催



田内千鶴子
生誕110周年にあわせ、
日本からは峯
野龍弘さん(淀
橋教会主管牧
師)を団長と
する訪韓団が
生まれ、10月
27日〜28日に
木浦を訪問。
日韓のキリス
ト教コンベン
ションや交流
のひと時が持
たれました。
一行はまた
木浦共生園ほ
か韓国の史跡
などを見学、
田内千鶴子の
足跡をたどり
ながら日韓の

歴史に思いを馳せました(下
に参加者のみなさんの感想)。
コンベンションで峯野牧師
は、何よりも重要なことは「相
手のために、しかも自らに敵
対し、不利益を与える相手の
ためにさえ、あえて自己犠牲
を甘受して、その相手の祝福
のために、献げ、仕えて行く、
何一つ見返りを期待しない無
償の愛」、すなわち「アガペー
の愛」であると語り、アガペー
の愛こそ、田内千鶴子の心の
内に満ちあふれていた「真の
愛」であったと説きました。



上||日本側から峯野龍弘牧師
(淀橋教会)、韓国側から金庄成
さんが登壇。右||木浦キリスト
教連合会長老聖歌隊の演奏

木浦ツアーを終えて

(順不同、敬称略)

▼美しい秋晴れの日、真剣
で懸命な眼差し、真っ直ぐで
混ざりけのない発達障がい児
による演奏で始まった式典
に、私は涙が滲んだ。そう遠
くない過去に、ここ木浦で、
家族を失った多くの孤独な子
供たちに愛情を注ぎ続けた
ひとりの日本人女性の日々

思いを馳せた。(山田篤子)
▼記念式典に参加して、最
も印象に残ったことは、困難
な歳月の中でも、子供たちへ
の変わらぬ愛を貫いた田内千
鶴子さんの愛が今も生きてい
るということだった。今回、
木浦の歴史について深く学べ
たこともとても良かった。(佐



木浦共生園前にて田内千鶴子生誕110周年訪韓団一行。
前列左から山田篤子さん、佐藤美津子さん、福田孝雄さん、尹基理事長、
峯野龍弘団長、勝山健一郎さん、水上洋一郎さん、中島孝夫さん。
後列左から高原幸男さん、山田和人さん、多胡元喜さん、藤森真人さん、
裴哲恩さん、神成尚亮さん、上羽清文さん。

藤美津子)

▼木浦と韓国の人々から
田内千鶴子が慕われているの
は、国や国籍などに関係なく、
困難な立場の人に手を差し
伸べる、隣人を愛するという、
福祉の精神を彼女が貫いたこ
とに多くの人が共感したから
だろうと思う。国連世界孤児
の日制定をこの地から発信す
ることは、まことに意味があ
るといえる。(福田孝雄)

▼田内千鶴子女史の「アガ
ペーの愛」が、今日の冷え
切った日韓関係を超えて、木
浦市民並びに諸教会とお互
い日本人と日本の諸教会を、
一つに結ぶ「愛の絆」となっ
て、今も息づいている現実を、
肌で感じ取ることが出来た。
(峯野龍弘)

▼尹致浩・田内千鶴子夫
妻が創設された「共生園」か
ら始まった事業が、日本にお
いては五か所で継続されてい
ることは、日韓のキリスト教
の証しとして、特筆すべきこ
と、愛の実践として素晴らし
い証と感じました。本来、教
会がもっとこれらのことを積
極的に行わなければならない
ことを、民間事業として果た
されたことに敬意を表しまし
た。(勝山健一郎)

(次ページに続く)

(前ページから)

▼田内千鶴子の偉業は様々な名が示す「共生」こそ今、国や民族などを超える、最も求められていることを日本人はもって知ってほしい。(水上洋一郎)

▼木浦は、海あり、山あり、食あり、歴史あり、人情もあつた。式典当日は、青空と感動があつた。

帰国して、もう一度「愛の黙示録」を読んだ。涙した。木浦の皆さんありがとう！田内理事長ありがとう！(中島孝夫)

▼孤児を生み出される社会は、健全な平和国家ではないことに強く示唆を受けました。普通に学校を卒業し、働き、結婚をして家庭を持てる。そんな国、共生園でなければならぬと強く感じました。(高原幸男)

▼コンベンションの中で、日韓両国の参加者全員が「感謝・愛の詩」(作詞・峯野龍弘、作曲・田中恵子)を山田篤子さんの指揮で大合唱した時、感動で涙が溢れた。歌には民族を超え、国境を超え、文化を超え、人と人のこころを一つにする力がある。(多胡元喜)

▼今回の訪問で、神様が今

に至るまでこの地で素晴らしいことをなさっておられる事を肌で感じる事が出来ました。田内千鶴子さんがおられた時は、現在より更に日韓関係が難しかった時代であつたと思ひますが、愛が全てを覆う鍵であると強く教えられました。(藤森真人)

▼木浦共生園での韓日合同

礼拝で朱基澈(チュギチョル)牧師の名前を耳にした。日帝時代に強要された神社参拝に抗い、平壤刑務所で殉教した牧師だ。父方の祖母の従弟に当たる。敬虔なクリスチャンだつた父は、キリスト教徒の矜持を守りぬいた生き方を家訓のように大事にしていた。信仰生活から離れた私を見

捨てず、初めて訪れた木浦で神様は手を差し伸べられた。その瞬間、涙が溢れ出た。私をその場に導いてくれた尹基理事長に改めて感謝を申し上げたい。(裴哲恩)

▼木浦市内見学で、田内千鶴子さんの背景や韓日の歴史を知ることが出来、よかつた。秀吉の時代、海戦で死んだ日本人水夫の墓は衝撃的でした。(上羽清文)

白建宇さんの歓迎会を開催

—故郷の家・神戸で—



左から杉浩二さん、左藤浩子さんご夫妻、梁起豪さんご夫妻、白建宇さん、尹基理事長、原田憲治さんご夫妻

韓国出身の世界的ピアニスト、白建宇(クンウ・パイク)さんが演奏活動のために来日、10月24日夜に故郷の家・神戸で歓迎会が開かれました。2015年の日韓国交正常化50周年記念リサイタル(サントリーホール)では田内千鶴子生誕100周年記念事業会が主管となるなど、白建宇さんはこころの家族とも親交が深いピアニストです。

歓迎会では駐神戸大韓民国総領事館の梁起豪総領事夫妻、原田憲治理事夫妻、左藤浩子評議員夫妻、杉浩二理事、尹基理事長が白建宇さんを迎え、すしや天ぷら、ステーキなどライブ調理によるできたての料理でおもてなし。最後に記念撮

影を行い、その後、白建宇さんをひと目見ようとやってきたファン職員とも快く記念撮影やサインに応じて下さいました。この日はまた、傘寿を迎えた尹基理事長に、原田夫妻、左藤夫妻からお祝いの花束、盛花が贈呈されるという場面もありました。

翌25日は梅田のフェニックスホールでの演奏会。白建宇さんはグラナドス作曲のピアノ組曲「ゴイエカス」全曲を休憩なしで一気に演奏。すばらしい演奏に拍手が鳴り止みませんでした。

ちなみに白建宇さんはアンコール演奏をしないことで知られており、その理由は「余韻にひたつてほしいから」とのことです。

若者たちが互いの国を訪問、研修

日韓次世代交流事業を実施

「田内千鶴子生誕110周年記念行事」を通じて「日韓次世代の交流と親睦事業」が今年初めて行われました。

この事業は公益財団法人日韓文化交流基金と社会福祉法人こころの家族の補助金支援により実現したものです。参加者は、日本からは故郷の家・神戸職員の中澤皓樹さん、故郷の家・京都職員の仲濱愛海さん、公募を通して選ばれた斧



木浦の共生再活院にて。前列左端に中澤皓樹さん、前列右端に斧明佳里さん、その左が仲濱愛海さん



故郷の家・京都にて。左から3人目がコ・スンチェさん、その右がシム・チュチャンさん



研修を終えた5人

印象的だったことは「福祉は国境を超える」ということ

明佳里さん（関西学院大学社会学部社会学科3回生）という、いずれも20代の3名。韓国からはコ・スンチェさん（共生福祉財団・家庭委託支援センター相談員）、シム・チュチャンさん（同）の2名が参加しました。

参加者の感想文から

もっと福祉について知りたい！と感じた

印象的だったことは「福祉は国境を超える」ということ

です。「田内千鶴子生誕110周年記念式典」に参加した多くの日本の方々や韓国の方々を見て、日本・韓国という国籍に関わらず、「誰かを大切に思い、奉仕したり、愛情を注いだりすることは、すべての人間に共通する行為」なのであり、それが『福祉』であることを知りました。

「共生園」はその歴史が作られた場所であり、式典に集まった方々はその歴史を引き継ぐ人々であり、私もその一人なのだと思いが引き締まる思いでした。

印象的だった 日韓の地域福祉の違い

「共生園」はその歴史が作られた場所であり、式典に集まった方々はその歴史を引き継ぐ人々であり、私もその一人なのだと思いが引き締まる思いでした。

「住民主体」という理念に立脚した地域福祉の実現を目標にする日本の多様な社会福祉事業に対して大阪府社会福祉協議会で講義を受けたことが印象的でした。社会福祉の主体が「国家と社会福祉士」だけでなく地域社会と住民であるということ学びました。

韓国での社会福祉は政府と社会福祉士が担当しなければならぬという考えをもつてしまいがちです。

韓国の社会福祉発展のためには、地域住民が共に、そして主体となるような社会福祉ネットワークの形成が重要であると認識しました。（全羅南道家庭委託支援センター相談員 シム・チュチャン）

「福祉は文化」再始動の年に

2023年もご支援お願いいたします

3年間に及ぶコロナ禍は当法人が運営する特別養護老人ホーム故郷の家の各施設にも大きな影響を与えました。新春号は、堺、神戸、京都、東京の施設長が集まってもらい、「コロナ禍からの脱却、そして2023年への「これから」を語ってもらいました。

「コロナ禍ではみなさん苦勞されたと思いますが、今日は2023年に向けた展望をお聞かせください」

文化プログラムを早く再開したい！



故郷の家・東京 朴施設長

朴 去る11月、故郷の家・東京は開設6周年を迎えました。3周年までは地域との交流が盛り上がり、たくさんの人たちが来てくれる施設になっていました。ところがその後コロナ禍になり地域との交流もできなくなってしまいました。来年は「コロナに負けず！」をスローガンに、以前のように地域交流をしたり、ボランティアさんにも来ていただきたいと思っています。ここの家族の理念「福祉は文化」に基づく施設として日・韓の多彩な文化行事やプログラムを開催します。地域に開かれた施設として気軽に施設を訪問していただけるようにします。

藤原 高齢者にも夢があります。その素朴な夢、願いを実現していきたい。故郷の家・京都は独立した文化ホールを持つ数少ない施設です。コロナ禍で辛かったのは、なによりも故郷の家が一番大事にしてきた文化プログラムができなかったことでしたが、これから再開したい。ご利用者の喜ぶ顔を見て職員たちに意欲を出してもらいたい。

故郷の家・京都の近くでは京都市立芸術大学の新キャンパス移転工事も進み、来年秋開校の予定です。ホールを生かして若い芸大生との交流が出来るようにもしたいと思っています。



故郷の家・京都 藤原施設長

巽 堺では第6波のときに大きなクラスターが起りましたが、職員たちが本当によく頑張ってくれました。その後「0（ゼロ）コロナ」でいこうと感染対策を徹底してきました。来年は、ご利用者1人ひとり、「この方は今、何を必要とされているのだろう」と個別に見極めな

から、「コロナ禍だけどやっていこう」と気持ちを切り替えていきます。「コロナだから」できない「から」「コロナだけど」できる「へ」。

松下 神戸ではつい先日、真野ふれあいのまちづくり協議会主催の「ふれあいバザー」に参加させてもらい、「青空健康体操」を施設職員が行わせていただきました。他にも似顔絵コーナーや真野同志会恒例の焼きソバ販売もあり、久々にご利用者さんの楽しそうな顔を見ました。

神戸ではいよいよ小規模特養申請へ

松下 さらに神戸には新たなニューズがあります。現在の施設の隣接地に29床のユニット型小規模特養老人ホームを2024年10月の開設を目指して計画。神戸は従来型多床室の施設なので、感染症に強いユニット型個室への期待もあります。理事会の決議後、師走には神戸市に書類を提出し、承認されれば、みなさまには旧倍のご支援ご協力をお願いしたいと願っています。



故郷の家・神戸 松下施設長

また、来年以降の展望としては、震災を経験した地域だからこそ、「災害に強い施設づくり」を行っていきます。地域の医師会や歯科医師会、薬剤師会、行政とも連携し、大規模災害発生時にも対応できる在宅医療介護のネットワークづくりと支援を目的に立ち上がった「長田区災害時の医療・介護提供協議会」に参画、災害時には地域の福祉避難所として開放できるように準備をしています。

備をしています。

朴 東京では12月に東洋大学の社会学部心理学科の学生7人が実習に来ます。また来年4・5・6月に5人ずつ実習を受け入れることにしました。最近抗原検査キットも手に入りやすいので検査を毎回しっかりとしながら、来年は地域住民を対象に健康相談などを行い、社会貢献も含めて積極的な行事を再開していきたいと思っています。

人材確保でサービス向上へ外国人職員も活躍

「故郷の家・京都では特定技能のベトナム人職員が6人になり、活気付いているとか」

藤原 彼・彼女たちはとにかく明るい。そして若くて元気。少々しんどいことも「ご利用者さんのために頑張ります」と前向きな姿勢で仕事に取り組んでくれているので気持ちがいい。ご利用者とも言葉を教えあつたりとコミュニケーションも上手。新たな風が吹いています。より良いサービスの質の向上を目指すにも、人材確保は必須です。

朴 東京には今6か国の職員がいます。特にミャンマー出身の職員は本当に真面目で仕事熱心。ユニットリーダーのうち2人はミャンマーの職員です。ご利用者はもう、外国人職員と日本人職員の区別をすることもなく全然普通です。

松下 神戸ではベトナムの技能実習生が介護福祉士を目指して勉強しています。行政が「コウベドカイゴ」という福祉応援プロジェクトに取り組むなど協力的で、住宅手当等補助や日本語学習支援、資格取得支援があるなど外国人職員にとっても働きやすい環境だと思っています。

巽 今、SNSの一種、TikTokを使った求人が若い人たちの間で注目を浴びているようで、取り入れてみるのもいいかと勉強を始めています。

松下 ホームページのブログを見て「雰囲気良さそうだから」と応募してくれた人もいました。
朴 東京では最近、高校生のアルバイトが入ってくれて、ご利用者から「孫のよう！」と評判がいいんです。学校が終わってからの介護補助の仕事として夕

方の見守り、掃除など手伝ってくれます。うちの施設は毎日が楽しい働きやすい職場で、職員からの職員紹介が多いです。

頑張れる源は？

「介護の仕事に長く携わってこられたみなさんですが、この仕事の魅力、また職員たちに今だから伝えたいことを教えてください」

藤原 私は現場の介護職員でしたが、いつもご利用者の素朴な願いをサポートできたらいいな、と仕事をしながら、それは今でも変わりません。ご利用者が望むことを何とかしてあげたい、と。

松下 僕は仲間かなあ、本当に。ご利用者やご家族の支えももちろんですが一緒に働いてきた職員に助けられて今の自分があると思っています。ここはそういうご縁がもたらえた施設です。

朴 私は、ご利用者さんが、満足している顔それしかない。「おしいわー！」「うれしい」「楽しい」と、言ってくれる笑顔。頑張れる源です。

巽 昔、先輩から言われて忘れられない言葉があります。「利用者さんから『ありがとう』と言われるということはまだまだだ」と。ありがとうと言われるのは、自分がまだ上からの立場になっているという事だと、今も思っています。

松下 今後は介護ロボットなど補助金を活用してICT(情報伝達技術)にも力を入れて、現場の職員がご利用者と関わる時間を長くできたら、とも考えています。

藤原 これからは職員が「頑張ろう」と思える環境を作ることも大切になっていきます。イベントなどが再開されたら職員たちのアイデアもどんどん取り入れたいです。



故郷の家 巽施設長

巽 この度、当施設が大阪府社会福祉協議会会長表彰の優良施設として表彰されました。大阪府下にある社会福祉施設の中で今回表彰されたのは30の事業施設で、その一つに当施設が選ばれました。韓国の文化と日本の文化の違いを受入れながらお一人お一人の夢・自立・文化を大切に長年尽力した功績が認められ、表彰していただいたことをスタッフ一同大変光栄なこと、嬉しく感じております。

「うれしいニュースをありがとうございます。今日はみなさんお疲れさまでした。」

座談会出席者 私たちの抱負

■故郷の家・東京

朴 正米 (パク・チョンミ)

★目標「韓国文化があり、毎日が楽しい、働きやすい施設」

■故郷の家・京都

藤原 一臣 (ふじわら・かずとみ)

★目標「日韓両国の文化を融合した HEART サービスを提供する施設」

■故郷の家・神戸

松下 良平 (まつした・りょうへい)

★目標「日韓両国の文化で2倍楽しめる施設」

■故郷の家(堺)

巽 耕作 (たつみ・こうさく)

★目標は「田内千鶴子の愛の精神を実践する施設」

おどる

堺・大阪・神戸・京都・東京

「故郷の家」各施設のホットな話題をお伝えします

※各施設のブログもご覧ください。QRコードからどうぞ！

笑顔のハロウィン！

10月31日、「ハロウィン」のイベントを開催しました。入居者・利用者さん、各職員さんがハロウィン仕様のマスクを着用。職員が仮装をして、各ユニットを回り、入居者・利用者さんと楽しく記念撮影。昼食にはかぼちゃのシチュー、おやつにはかぼちゃのプリンやかぼちゃのどら焼きを提供し、皆さん、「おいしい。おいしい」と召し上がっておられました。入居者・利用者さん、また職員にとっても笑顔が絶えない一日となりました。



カラオケ&誕生日会

故郷の家・京都では月1回以上、各ユニットや同フロアごとにカラオケを実施しています。コロナ禍でカラオケを中止していた時期もありましたが、現在は全体では集まらず、感染対策を行った上で行っています。

10月のこの日、4階のユニットでの開催日が「誕生日」という入居者さんがおられたので、カラオケのあと、そのままバスデイソングをプレゼント。記念撮影後、ホールケーキを切り分けて、皆さんで一緒に食べて、お祝いをしました。カラオケでいろんな歌を精一杯歌い、精一杯拍手し、精一杯笑った後の、コーヒールとケーキ！皆さん、ペロッと完食。満足そうにお部屋に戻っていかれるのがとても印象的でした。



京都

堺



お喋りしながら 楽しくお花作り

普段のちょっとした時間に、利用者さんに楽しんでいただけるよう、カラフルなお花紙をたくさん用意してお花作りを楽しんでいただいています。「指のリハビリにもなるし、いいわあ」「この色の組み合わせはどうかしら」と今日も仲良く、お喋りも弾みます。



クリスマスの飾り

今年も大きなクリスマスツリーの飾りつけを無事に済ませ、堺のホールは華やかな雰囲気になりました。あちこちの小さなコーナーにも、可愛い飾りが施されクリスマスの準備は万端です。



コキアが赤く色づきました

夏の間によくすくすくと成長し、さわやかなライムグリーンだったエントランスのコキアが、秋になり美しく色づいてきました。コキアは和名をほうき草といい、昔はこの茎を乾燥させてほうきを作っていたそうです。

少し肌寒い中、見に来られた利用者さんも「わあ、鮮やかやねえ」とと珍しそうにご覧になっていました。



「紅葉巡り」楽しむ

「紅葉巡り」に行ってきました。11月下旬はとても寒い日が続くので、今年は例年より行く時期を早くしましたが、そこまで葉っぱは赤く、黄色くはなっていませんでした。代わりにすごく陽気の良い1週間に、外へ散歩することができたと思います。みなさん久しぶりの外出に、とても喜んでおられました。利用者さんの中には、帰りに綺麗な色の落ち葉を、持ち帰っていらっしゃいました。

「焼き芋会」で大盛り上がり

「焼き芋会」を今年も盛大に開きました。今年のお芋はとても大きく、また甘く、ひじょうに食べ応えのあるお芋でした。また今回は、焼き鳥もお出して贅沢なおやつとなりましたが、暖かかったので、利用者さんはテラスに出て、日向ぼっこをしながらの気持ちの良い午後のひと時でした。おなじみのカラオケも開催して、むしろこちらの方がメインになるくらい、皆さん大盛り上がりでした。



東京



真野ふれあいバザーで健康体操

神戸



約2年ぶりに真野ふれあいのまちづくり協議会主催の行事が南尻池公園で開催されました。バザー出店以外にも、お馴染みのおでんや焼きそばの他、ベトナム春巻きの屋台や似顔絵コーナーもありました。故郷の家・神戸からは理学療法士による青空健康体操を実施させて頂きました。天気は快晴に恵まれ、ご利用者の方々も久しぶりの外出に大変喜ばれていました。



散歩で再会！

穏やかな天気の良いある日、ご利用者数名と地域に散歩へ出かけた際に、以前会報367号で紹介した、在宅復帰されたご利用者さんの施設を訪問させて頂きました。「元気?」「新しい部屋はどう?」など、皆さん久しぶりの再会で話が尽きることがありませんでした。

10月28日、田内千鶴子生誕110周年記念式典にて、水仙花合唱団とハートハートオーケストラの意義深い祝賀公演が行われました。

水仙花合唱団

水仙花合唱団は音楽教師だった田内千鶴子の影響を受けて1970年に創立され、数回の日本公演のほか、2018年には国連世界孤児の日制定推進ニューヨーク大会にも参加したことがあります。

今回の祝賀公演では共生園の子どもたちと共生再活院の障害者が韓国語と日本語と英語で、故郷を偲ぶ田内千鶴子の気持ちを想いながら「故郷の春」と「You raise me up」を歌いました。この日の歌声は儒達山にこだまし、すべての参加者に田内千鶴子の愛のメッセージが響き渡るような感動の合唱となりました。



ハートハートオーケストラ

ハートハート財団が2006年に創立した発達障害者のオーケストラで、韓国を代表する障害者文化福祉のロールモデルとして、健常者でも難しい楽器演奏を通して達成感を得て、活発な演奏活動を繰り広げています。

この日に招かれて祝賀演奏した日本アニメ「となりのトトロ」のサウンドトラックと韓国歌曲の旋律は共生園の上に天高く青々と広がる秋空に響き渡り、式典に参列した日韓両国の来賓の皆様にも深い感動と響きをプレゼントしました。この旋律が田内千鶴子の孤児への愛の精神を乗せて、世界各国に広がっていくことを期待します。



3年ぶりの追悼礼拝を行います

故郷の家各施設ではこの2年間に亡くなりになった方の追悼礼拝を順次実施しております

追悼礼拝は毎年行っていますが、コロナ禍により2019年3月以来途絶えており、3年ぶりの追悼礼拝となります。この間、コロナでお亡くなりになった方々にはその当時十分なお見送りができませんでした。あらためて、お祈りを捧げたいと思います。

堺では12月4日、京都では12月18日に行う予定です（神戸は6月19日に行いました）。

訃報

スアン・ブンネさん

2022年10月3日、73歳にてご逝去。

スウェーデン音楽療法（ブネ・メソッド）の創始者。だれでも簡単に演奏ができるブネ楽器を使って、故郷の家でもたくさんのご利用者が音楽を楽しむようになりました。

ご冥福をお祈りいたします。



皆様のご支援に感謝申し上げます



2022年10月 寄付合計 1,928,702円

堺	385,721円	京都	108,500円
大阪	0円	東京	70,000円
神戸	3,671円	法人	1,360,810円

2022年10月の寄付者 (敬称略)

吉朝 つぎゑ	佐藤 重之	山口 貞夫	一般社団法人愛の分か	観寺 伊津美
土井 康晴	四宮 章夫	星田 正雄	ち合い 会長	多胡 元喜
チャーチ オブ クライ	田内 文枝	金 慶光	金 雲天	黒岩 晴子
スト ニュージューラ	吉澤 まゆみ	ペン株式会社	松下 令子	松本 光恵
ンド日本大阪教会	里見 知子	金氏高麗人参株式会	田内 基	「ハートサービス運
牧師 高田義三	佐藤 美津子	社	タキザワ オリエ	動」募金箱
夫 昇培	藤原 一臣	金山 委智夫	李 花祚	田中 伸枝
川島 順子	李 守陳	(有)テラヲ貸物店	故郷の家・京都	株式会社ヤマエン
宗教法人純心聖母会	中村 啓子	レデンプトリスチン	募金箱	タープライズ 代表取
杣 浩二	藤田 裕之	修道院	ながやま歯科	締役 池 正淑
李 善恵	畑 正樹	(株)スポーツ寿苑 代表	永山 成大	佐藤 幸男
匿名希望者	畑 有紀	取締役 鄭 貞子	宮原 智文	

2022年10月・11月の寄贈者 (敬称略。すべての方のお名前を記しているわけではありません。ご了承ください)

■故郷の家(堺) (10月~11月15日) 着本 アサ子ご家族 宝竜 美代ご家族 良山 秀次ご家族 森 繁雄ご家族 武吉 文子ご家族 徳永 吉助ご家族 原田 洋子ご家族 山本 俊吉ご家族 板谷 節子ご家族 高知新聞社 湯川歯科 あゆみ介護センター 多胡 元喜 岡 真由美	■故郷の家・神戸 (10月~11月13日) 金谷 小香ご家族 関西学院大学 桑山 敬己 (株)三國製靴 淡田 眞美子ご家族 岩本 絹子ご家族 山下 実千代ご家族 (株)平安 吉本 タツエご家族 播磨 けい子ご家族 上野 勉ご家族 呂 錦順ご家族 瑞川 君子ご家族 和泉 末子ご家族	西山 眞佐子ご家族 片山 妙子 大西 絢子 紙谷 洋亮 多胡 元喜 嶺山 廣慶ご家族 山口 孝夫 ■故郷の家・京都 (10月~11月15日) 栗原 美代子様ご家族 山本 秀子ご家族 京山 君子ご家族 竹内 春子ご家族 中村 安喜ご家族 田中 泰一ご家族	中村 眞智子ご家族 中村 共子ご家族 西澤 達子ご家族 大森 秀子ご家族 澤田 千代ご家族 辻 一夫ご家族 金 元治ご家族 河村 小夜子ご友人 岡本 都美子 鷺巣 ■故郷の家・東京 (10月~11月18日) 嶋田 誠子ご家族 柳 花子ご家族 賀山 初江ご家族	今井 康子ご家族 藤井 令ご家族 板倉 清子ご家族 玄 春河・姜 順子 ご家族 関根 美夫ご家族 桂 祐幸ご家族 齋藤 實ご家族 横山 幸ご家族 (株)テストイパル 日清医療食品(株) お茶の水教会 東洋大学 小松
---	--	---	--	---

2022年10月・11月の来訪者・ボランティア(敬称略)

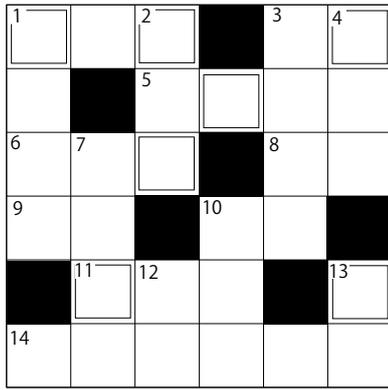
■故郷の家(堺) 新型コロナウイルス 蔓延予防のため、ボ ランティア様の受入 れなし。	■故郷の家・神戸 大藪 共基(元職員ボ ランティア)	■故郷の家・京都 10月、11月は ボラ ンティア様の受け入れ なし	■故郷の家・東京 中島 榮美
--	---	--	--------------------------

◆ クロスワードパズル ◆

※前回の答えは「ダイエット」でした。

【プレゼント＝靴下を用意して】

二重マスの文字を組み合わせてできる言葉を答えてください。



- ↓ タテのカギ
- ① これからは温泉——もいいですね。
 - ② 住居。
 - ③ 香辛料の一種。
 - ④ ステージ。
 - ⑦ こうなると困りますね。料理もお風呂も水洗トイレも……。
 - ⑩ しまっておくこと。
 - ⑫ ドクター。
 - ⑬ これを焚くストーブも。

→ ヨコのカギ

- ① ヒイラギの葉や松ぼっくりで作って戸口などに飾るクリスマス——。
- ③ 目の上の——。——取りじいさん。
- ⑤ ここからがんばって十両に。
- ⑥ 日本では平安時代前期までをさします。
- ⑧ 夜のはじめの部分。
- ⑨ 悪——、不——、——だめし。
- ⑩ ——の裁きを受ける。
- ⑪ 夏の味覚ですね。
- ⑭ 気持ちがいいくらいいどんどん勝ち進む様子。

● プレゼント ●



正解者の中から3名さまに、カラフルでかわいい韓国製のストラップをプレゼント。財布やポーチにつけると目印になってよさそう。

応募は、はがきにクロスワードパズルの答、住所・氏

名・電話番号をお書きのうえ、〒590-0142堺市南区檜尾3360-12「故郷の家・クイズ係」まで、2月10日締め切り。

本誌をお読みになった感想、メッセージなどもどうぞお書き添えください。

在日韓国老人ホームを作る会の働きにより「こころの家族」が誕生しました。

発行人：田内文枝 編集人：尹基 編集：多胡元喜、佐東まゆみ
 法人本部 〒590-0142 大阪府堺市南区檜尾3360-12
 ☎072-271-0881 Fax 072-271-5474
<http://www.kokorono.or.jp>
 E-mail: kazoku@kokorono.or.jp



お読みになった後はお隣の方にもおまわし下さい

- 故郷の家（堺） 大阪府堺市南区檜尾3360-12 TEL 072-271-0881
 ブログ <http://kokyosakai.blog40.fc2.com/>
- 故郷の家・神戸 兵庫県神戸市長田区東尻池町7-4-21 TEL 078-651-1555
 ブログ <http://kokyokobe.blog40.fc2.com/>
- 故郷の家・東京 東京都江東区塩浜1-4-48 TEL 03-3644-0555
 ブログ <http://kokyotokyo5.blog.fc2.com/>

ようこそ こころの家族へ

こころの家族は、韓国の地でキリスト教精神に基づき、愛の生涯を全うした田内千鶴子の志を受け継ぎ、民族・文化を越えて高齢者、児童、障害者と共に生きる社会づくりを目指します。

ご参加ください

- A) 愛の寄付金 自由な金額
- B) 賛助会員月 1,000円（年1万2千円）
- C) 留学生支援 月5,000円（年6万円）
- D) 1%会員 （所得、売上、祝儀、遺産、感謝）
- E) 1坪会員 35万円（堺）、45万円（神戸）、30万円（京都）、100万円（東京、大阪）
- F) 建設会員 100万円

海外協力事業

こころの家族は韓国尹鶴子共生財団が支援する、下記の施設運営および事業に協力しています。

共生園、共生再活院、木浦障がい者養護院、イエソン自立院、務安自立院、全羅南道家庭委託支援センター、国連世界孤児の日制定推進運動

ご送金の方法

- 郵便振替 □座番号：00940-0-329280
 加入者名：社会福祉法人こころの家族
- 銀行振込 銀行名：三菱UFJ銀行
 支店名：光明池支店 普通1052623
 □座名義：社会福祉法人こころの家族

寄付申込書

年 月 日

* 寄付申込書は下記まで FAX で、または郵送でお送りください。

FAX 072-271-5474

ふりがな
お名前

連絡先 〒

(自宅・会社)

TEL

FAX

ご寄付内容 ※支援先（施設名、事業名）を具体的にお書きください。

- （ ）として（ ） □ 寄付します。
- 海外協力事業に（ ） □ 寄付します。

本法人は統一教会とは関係ありません

- 故郷の家・大阪 大阪府大阪市生野区中川1-2-4-26 TEL 06-6753-6580
 ブログ <http://kokyoosaka.blog79.fc2.com/>
- 故郷の家・京都 京都府京都市南区東九条南松ノ木町47 TEL 075-691-4448
 ブログ <http://kokyokyoto.blog41.fc2.com/>